

1. 中学校での目標

- (1) 毎日の生活に必要な国語の知識や技能を身につけて、言語文化に親しみ、理解できる力をつけます。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力をつけて、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力をつけます。
- (3) 読書を通じて言葉がもつ価値を知り、生活に役立てて、言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う態度を養います。
- (4) 言語活動や文章に含まれる情報を取り出して比較し、関連させ整理する力をつけます。

2. 教材

教科書：国語3（光村図書） 書写1、2、3年（光村図書）

ワークシート ファイル(授業プリントを綴じる)

ワークブック：新・基礎の学習（新学社） 漢字ワーク：漢字マスター（学宝社）

文法ワーク：すらすら基本文法（浜島書店）

※ワーク類（基礎の学習、文法・・・必要な時学校へ持ってくる）

3. 授業の受け方

- ・音読をはじめとした「読む」ことを大切にしよう。
- ・漢字語句の学習は計画的に進めて、「読み」「形」「意味」の要素をバランスよく身につけよう。
- ・ペア学習やグループ学習の場面では、お互いの意見を出し合い、共通点と相違点を集めよう。
- ・ワークを有効に活用し、具体的な学習課題に取り組もう。
- ・スピーチや作文の学習場面では、前回までの自分と比較するなど振り返りをしよう。
- ・教科書以外の材料（新聞など）など、いろいろな視点から情報を集め、国語に関わる力を伸ばそう。
- ・振り返りでは、（+）理解できたところ、（-）理解できなかったところ、（→）理解を深めるために次に何をするかを分析し、自分で計画して学習に取り組めるようにしよう。

4. 家庭学習の進め方

- ①漢字語句に関する学習は、「読める」「書ける」「意味が分かる」の3要素を大切にして、計画的に学習を行おう。
- ②単元が終わったら、ワークブックで授業の復習をしよう。
- ③記述式問題にもチャレンジし、自分の書けた答えを大切にしよう。
- ④「みんなの学習クラブ」を積極的に活用しよう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	漢字語句をはじめとして、社会生活に必要な国語について、その特徴を理解し適切に使っているか。	単元テスト 定期テスト
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のそれぞれの学習場面において、社会生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができているか。	定期テスト ワークシート 授業中の様子
主体的に 学びに向かう態度	言葉を通じて自己への理解を深め、思いや考えを深めているか。言語活動の中で相手や目的、場面に応じて、どのような言葉を選び、表現しようとしているか。	「けてぶれ」 振り返りシート ワークシート 授業中の様子

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詩・小説 ・ 古文・漢字語句 ・ 説明文・俳句・文法 ・ 読書・スピーチ・作文・書写
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詩・小説 ・ 漢字語句・説明文 ・ 詩・古文・文法 ・ 説明文・読書・スピーチ・作文・書写
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随筆・文法 ・ 詩・漢字語句・スピーチ ・ 作文・書写

1. 中学校での目標

- (1) 社会的な事象について理解するために、資料(インターネット等)から情報を集める力を身につけます。
- (2) 社会的な見方・考え方を働かせ、事物を整理し、課題を解決する力を身につけます。
- (3) 社会的な事象に自ら進んで関わり、課題解決の過程を振り返りながら評価・改善しようとする力を身につけます。

2. 教材

【歴史的分野】教科書：新しい社会歴史（東京書籍） 授業デジタルレジュメ（先生の手作り）

問題集：社会の自主学习歴史2・3（新学社） 資料集：つながる歴史

【公民的分野】教科書：新しい社会公民（東京書籍） 授業デジタルレジュメ（先生の手作り）

問題集：社会の自主学习公民（新学社）

これら全ては、自らが宿題等で必要などきのみ持ち帰り、普段は学校に置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

次の3つを意識して授業を受けましょう。

○情報を集める

学習課題を解決するために、本やインターネットを使って情報を集めましょう。授業中に他者と交流をする際は、相手の考えをよく聞き認めましょう。

○考えをまとめる

学習課題を解決するために集めてきた情報を整理し、まとめよう。

○自分の学習をコントロールする(他者との交流も含)

授業の学習課題を解決するために、自分で見通しを持ち、課題解決のために積極的に行動しましょう。また、実行してみてもうまくいったこと、うまくいかなかったこともふりかえって、次の計画に活かしましょう。

4. 宿題の進め方

・計画/テスト/分析/練習の順番で行う「けてぶれ」を使って、宿題を行う。授業の予習をするのもよし、復習をするのもよし、自分のために、計画的に勉強を行いましょう。見せるため、提出するための宿題はやめましょう。また、社会の自主学习（問題集）やみんなの学習クラブなど使えるツールはフル活用して宿題を効果的に行ってください。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	基礎的な知識（社会科用語を含む） その運用	・定期テスト
思考・判断・表現	知識の活用や多角的な（鳥の目、虫の目）内容構成であり 表現の工夫ができる。	・授業内で行う学習 計画シートの記述 ・パフォーマンス課題 ・定期テスト
主体的に 学びに向かう態度	自らの学習について、見通しをもち(計画を立てる)、実行し(自分の計画を実行し行動をテストする)、振り返る (自らの行動を分析する)ことによって自分を客観的に見る力及び、自己調整力を身につけることができる。	・「けてぶれ」(宿題支援) ・授業内で行う学習 計画シートの記述 ・単元テスト

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	<p>【歴史的分野】</p> <p>第5章 開国と近代日本の歩み 第4節 日清・日露戦争と近代産業</p> <p>第6章 二度の世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦 第2節 大正デモクラシー 第3節 世界恐慌と日本の中国侵略 第4節 第二次世界大戦と日本</p> <p>第7章 現代の日本と私たち 第1節 戦後日本の出発 第2節 冷戦と日本の発展 第3節 新たな時代の日本と世界</p>
2 学期	<p>【公民的分野】</p> <p>第1章 現代社会と私たち</p> <p>第2章 個人の尊重と日本国憲法 第1節 人権と日本国憲法 第2節 人権と共生社会 第3節 これからの人権保障</p> <p>第3章 現代の民主政治と社会 第1節 現代の民主政治 第2節 国の政治の仕組み 第3節 地方政治と私たち</p> <p>第4章 私たちの暮らしと経済 第1節 消費生活と市場経済 第2節 生産と労働 第3節 市場経済のしくみと金融 第4節 財政と国民の福祉 第5節 これからの経済と社会</p>
3 学期	<p>第5章 地球社会と私たち 第1節 国際社会のしくみ 第2節 さまざまな国際問題 第3節 これからの地球社会と日本</p> <p>【受験対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地理的分野 ・ 歴史的分野 ・ 公民的分野

1. 中学校での目標

- (1) 数量や図形などの概念や原理・法則などを理解するために、情報を集めることで、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。
- (2) 数学を活用し事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力をつける。
- (3) 数学のよさを実感して生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返りながら評価・改善しようとする態度を身につける。

2. 教材

教科書：未来へひろがる 数学3 問題集：クリアノート ファイル：授業用配布プリント

3. 授業の受け方

- ・授業の課題を考えている中でまずは、課題解決に必要な情報を集める。その中で仲間や教師の発言、説明についてよく聞き、「なにがわかったか」「なにがわからなかったか」について整理する。また、他者と自分の考えと比べてどこが違うのか、相手はどう考えているのかを理解しようとする。
- ・課題を考えている中で困ったときは、まず周りに聞いたり調べたりして情報を集めてみる。その際、情報に対して「つまりこういうことだ」と要約しようとすることや、「たとえばこういうことを言っているのだ」と類似的に考えることができるように取り組むようにする。

4. 家庭学習の進め方

【予習の仕方】

- ・これから入る単元について教科書を見て、概要を掴む。その際に、わかること、疑問が残ること、わからないことを自分の中で整理しておく。（事前にノートにメモをしたり、ラインを引いたりする）
 - ・これから入る単元について自分の知っていることやイメージするものをノートに書きだしておく。
- ※その際に教科書やワークを用いてもよい

【復習の仕方】

- ・その日の授業で「わからなかったこと、間違えたこと、疑問に思ったこと」について振り返りノートにまとめ、次回の授業で、「何を意識して学ぶか」を自分の中で整理しておく。
- ※特に間違えたことは、家庭学習にて力の定着を図る。（ワークや授業内容の振り返り、宿題など）
- ・ある単元について、予習段階から授業を受けたあとの知識や概念の変容をまとめる。
 - ・基礎的な知識・技能について反復練習をする。
- 「みんなの学習クラブ」を利用して1、2年生の復習や3年生の予習を家庭学習で行ってほしい。

家庭学習の「けテぶれ」のサイクル

け（計画）・・・授業のめあて

テ（テスト）・・・授業で思考したことすべて

ぶ（分析）・・・授業の振り返り

れ（練習）・・・「けテぶ」をもとに、計画を立て直したり分析を踏まえて練習したりする

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	主な評価の材料・方法
知識・技能	数学の基礎的な概念や原理・法則などを理解しているか。またそれらの事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けられているか。	単元テスト レポート 定期テスト 授業中の取組の様子
思考・判断・表現	数と式・図形・関数・データの活用において、新しい課題に対して既習事項と関連づけて考察し、表現することができるか。また、日常生活における課題を数的に捉え、解決することができるか。	レポート パフォーマンステスト 単元テスト 定期テスト 授業中の取組の様子
主体的に 学びに向かう態度	知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけることに熱心に取り組んでいるか。また、それらを身につけるために、自分はどこができない・わからないのかを見つけ、それを解決しようとしているか。 それぞれの学習内容について学んだことを生活や学習に生かそうとしているか。また、学んだことを活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしているか。	振り返り ワークシート レポート 単元テスト 定期テスト パフォーマンステスト 授業中の取組の様子

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	1 章：式の展開と因数分解 ・式の展開と因数分解 ・式の計算の利用 2 章：平方根 ・平方根 ・根号をふくむ式の計算 ・平方根の利用 3 章：二次方程式 ・二次方程式 ・二次方程式の利用
2 学期	4 章： $y = ax^2$ ・関数とグラフ ・関数 $y = ax^2$ の値の変化 ・いろいろな事象と関数 5 章：図形と相似 ・図形と相似 ・平行線と線分の比 ・相似な図形の計量 ・相似の利用 6 章：円の性質 ・円周角と中心角 ・円の性質の利用
3 学期	7 章：三平方の定理 ・直角三角形の3辺の関係 ・三平方の定理の利用 8 章：標本調査とデータの活用 ・標本調査

1. 中学校での目標

自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な力をつけます。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、観察、実験の技能を身につけます。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養います。
- (3) 自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養います。

2. 教材

教科書：未来へひろがるサイエンス 理科ノート 問題集：完全学習

プリント：基礎をきずく 資料集：グラフィック理科

教科書と理科ファイル（授業プリント）は家庭学習のために持ち帰りましょう。それ以外は必要などきのみ持ち帰り、ふだんは学校に置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

授業中の「考える課題」はよく考え、他の人の考えをよく聞き自分の考えと比べて良い点を取り入れましょう。

授業中に新しい知識を習ったときに教科書や資料集の目的とする部分だけではなく関連する部分もよく読み、ひとつずつ知識を覚えるのではなく知識を繋げて覚えましょう。そして新しい知識は「あとで」ではなく「そのときに（授業中に）」おぼえるようにしましょう。

実験、観察は結果を予測しながら行い、結果が出たら目的を見直して「何がわかるのか」を考えましょう。

4. 家庭学習の進め方

予習よりも復習をしっかりしましょう。その日にやった授業プリントや教科書の該当する部分を読みましょう。授業中の課題の答えを別の紙にもう一度書いてみましょう。

宿題プリントや問題集をやることで、忘れてしまったところや理解が不十分なところを見つけましょう。忘れてしまったところや理解が不十分なところは、早めに調べたり聞いたりしましょう。

定期テスト前には、理科ノートの授業でやった部分をやり直したり、宿題プリントや問題集をやり直したりしましょう。特に、以前やったときに間違えたところができるようになっているかどうか確認して、できるようになっていなければ早めに調べたり聞いたりしましょう。

問題演習をする中で「みんなの学習クラブ」を利用しましょう。昨年度に配った ID とパスワードで今年度もログインすることができるので、必要な範囲の問題を解きましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 用語、法則、観察実験の技能、観察実験結果の記録・整理のやり方等を身につけているか 	単元テスト 定期テスト 観察実験実技テスト レポート
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 観察実験の計画を正しく立てることができるか 観察実験結果から正しい結論を導き出せるか 上の2つを他の人に伝わるように表現できるか 基礎的な知識を組み合わせることにより、より難しい知識を導き出すことができるか 	単元テスト 定期テスト レポート 理科ノート 授業中のようす
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> 知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけることに熱心に取り組んでいるか 知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけるために、自分はどこができない・わからないのかを見つけ、それを解決しようとしているか 自然現象等に進んで関わろうとしているか 自然現象等について、なぜそうなるのかを考えたり、自分の考えを振り返ったりするなど、科学的に考えようとしているか 	宿題プリント レポート 理科ノート 授業中のようす 授業の振り返り

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	【生命の連続性】 生物のふえ方と成長 遺伝の規則性と遺伝子 生物の種類の多様性と進化 【化学変化とイオン】 水溶液とイオン 酸・アルカリと塩 電池とイオン
2 学期	【運動とエネルギー】 力の合成と分解 物体の運動 仕事とエネルギー 多様なエネルギーとその移り変わり エネルギー変換とその利用 【宇宙を観る】 地球から宇宙へ 月と金星の動きと見え方 太陽と恒星の動き
3 学期	【自然と人間】 自然界のつり合い さまざまな物質の利用と人間 科学技術の発展 人間と環境 持続可能な社会をめざして

1. 中学校での目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かにかかわる技能や知識を身につけ、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育もう。

- (1) 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・技能を養います。
- (2) 音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにします。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし音楽に親しんでいく態度や豊かな情操を養います。

2. 教材

教科書：音楽2・3上、下 器楽 曲集：ジョイフルソング
全ての教材は必要なときのみ持ち帰り、ふだんは学校に置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

- 学習課題を的確に把握し、それを解決するために情報を集めましょう。
- ・疑問に思ったことやわからなかったことから整理して課題を解決しましょう。
- ・歌詞の内容や曲想を感じ取って自分の中から外に向かって表現しよう。
- ・音楽の特徴を感じ取り、表現を工夫しよう。
- ・多種多様な音楽に興味・関心を持って聴こう。

4. 家庭学習の進め方

- 宿題や課題に向けて練習をしっかりと取り組もう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に記載されている音楽用語の意味を覚えたか。 音楽を構成している要素を理解し曲の特徴を感じ取ることができたか。 音程を正確にとらえ歌唱することができたか。 楽器の特徴を知り、楽譜通りに楽器を演奏することができたか。 	<p>定期テスト 実技テスト</p>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の要素を理解し、創意工夫して表現することができたか。 グループ学習において他者の意見をよく聞き自分の考えを発表することができたか。 曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図を持ち、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができたか。 	<p>定期テスト 授業プリント 授業中のようす</p>
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> 知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけることに楽しみながら取り組んでいるか 知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけるために、自分はどこができない・わからないのかを見つけ、それを解決しようとしているか 音楽に対して関心。意欲を持ち、主体的、協働的に音楽活動に取り組んでいたか。 	<p>宿題プリント 授業プリント 授業中のようす</p>

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 二部合唱「花」・三部合唱「時の旅人」「アメージング グレイス」 創作「作曲」 鑑賞「ブルタバ」
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクールに向けての取り組み 鑑賞「展覧会の絵」 器楽「箏」
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 創作「リズムアンサンブル」 器楽「和太鼓」 卒業式合唱練習

1. 中学校での目標

表現および鑑賞の幅広い活動を通じて、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるちからを育てます。

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高めます。
- (2) 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばします。
- (3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高めます。

2. 教材

教科書：美術2. 3下 美術資料集 絵具セット 活用：(自主教材アイデア用紙・がんばりシート)
教科書と資料集、絵具セットは学校へ置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

- ・授業で指示される制作のポイントを理解し、意欲的に制作課題に取り組もう。
- ・制作中のつまずきは誰しもあります。
自分の良いところを発見し、活かし、最後まで諦めずに取り組もう。
- ・アイデア用紙で、自分の制作物のテーマや構想を明確にして課題に取り組もう。
- ・自ら課題を見つけ、制作時間を意識し、計画的に自己完成度の高い作品を生み出していこう。
- ・自分の意見や感想を述べられるようにしよう。また、仲間の表現も尊重し、協力、協同を心がけよう。
- ・出来るようになったこと、発見したことは、自分の創造力の高まりです。
自信をもって、さらに自分の能力やセンスを磨いていこう。
- ・美術室、使用する道具、作品を大切に扱い、道具を安全に使用しよう。
- ・忘れ物をして制作活動が停止しないようにしよう。

4. 家庭学習の進め方

- ・制作にあたって、作品づくりに活用できそうな資料を自分で用意をする必要があります。
作品づくりのためのアイデアをふくらませておこう。
- ・美術館や博物館に実際に行って、多くの芸術作品とふれあうなど、鑑賞の機会をつくっていこう。
実際に見る、感じることがとても大切です。
- ・テレビで美術番組を観てみましょう。
NHK 『日曜美術館』
Eテレ 『MIXびじゅチューン!』、『デザインミュージアムをデザインする』
『no art, no life』
テレビ愛知 『新美の巨人たち』
BS日テレ 『ぶらぶら美術館・博物館』

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などでとらえることを理解している。 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追及して創造的に表している。 材料や用具の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。 	活動内容と質（表現に活かせる知識・表現につながる技能の質） 活動内容・アイデア用紙・がんばりシート・作品と解説文・意見表明等
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたことから主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 伝える目的や、使う目的、社会との関わり、などの条件を基に主題を生み出し効果と美しさの調和を総合的に考え表現の構想を練っている。 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、主体的に見方や感じ方を深めようとしている。 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして見方や感じ方を深めている。 	活動内容と質（思考力・判断力・表現力の質） 活動内容・アイデア用紙・がんばりシート・作品と解説文・意見表明等
主体的に 学びに 向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。 	授業中の態度（主体的な創作姿勢） 活動姿勢・アイデア用紙・がんばりシート・作品と解説文・準備物等

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	【人間社会と芸術活動】 【時代を超えて美を探求する思い】 【さまざまなアートに触れよう】 【今を生きる私へ】 ころのメッセージ】 【イメージを追い求めて】 ころのメッセージ】 【私の色 みんなの色】 ころのメッセージ】 【空想は現実を超えて】 反戦・平和】 【イメージを追い求めて】 反戦・平和】 【あの日を忘れない】 反戦・平和】 【きらめきゆらめき】 思いを伝える】
2 学期	【祈りの造形を感じ取る】 反戦・平和】 【どこまで修復すべきか】 反戦・平和】 【人が生きる社会と未来】 反戦・平和】 【ホロコースト】 【自分への贈る卒業記念品】 箱につめた思い】 【仲間との交流の中から】 箱につめた思い】 【笑顔が生まれるデザイン】 箱につめた思い】
3 学期	【魅力を伝えるパッケージ】 箱につめた思い】 【心がほっとなごむもの】 箱につめた思い】 【社会に生きる美術の力】 積み上げたもの】

1. 中学校での目標

生涯にわたって、心身の健康を保持増進し、楽しさや喜びを味わおうとするための力をつけます。

- (1) 健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけます。
- (2) 運動や健康についての課題を発見し、解決に向けて思考し判断して、相手に伝える力を養います。
- (3) 心と体を一体として捉え、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養います。

2. 教材

【実技】

- ・ 体育実技 ・ 上下体操服 ・ 体育館シューズ ・ 動きやすい外靴
- ・ 必要に応じてタオルや水筒など

【保健】

- ・ 保健の教科書 ・ 保健ノート

【共用】

- ・ ファイル

*持ち帰りではありませんが、各種ルールなどを体育実技で確認しておきましょう。

3. 授業の受け方

- ・ 各種目、ルールを調べたり、技の名称を覚えたりしながら、積極的に情報を集めましょう。
- ・ グループ活動では、リーダーを中心に「なぜ」を共有して見通しを持ち、「どうすればよいか」を考え、計画を立て、それを工夫しながら活動しましょう。保健では、実生活と結び付け、より豊かな生活のためには「どうすればよいか」考えながら授業に参加しましょう。
- ・ 運動が得意な人も、苦手な人も授業を楽しめるように、周りと交流することも、情報を集めることの一つです。

4. 家庭学習の進め方

- ・ 授業の中の課題をよりよいものにするために、インターネットなどで情報を収集してみましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none">・種目に応じた技能・知識・健康・安全の留意点についての理解	<ul style="list-style-type: none">・定期テスト・実技テスト・各種目での活動
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">・状況に応じた技能の選択・現状の分析・上達するための工夫・グループ活動での言動・他者に伝える力	<ul style="list-style-type: none">・ミニゲーム・振り返りシート・授業に取り組む姿
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none">・授業への主体的な取り組む様子 (課題解決に向けての手立てを考えられる)・グループ活動への参加	<ul style="list-style-type: none">・授業に取り組む姿・振り返りシート

6. 学習計画

学期	学習内容 (単元)
1 学期	【実技】 集団行動、新体力テスト、陸上競技 (走り高跳び)、球技 (ネット型) 【保健】 健康と環境、文化としてのスポーツの意義
2 学期	【実技】 球技 (ベースボール型)、器械運動 (マット)、陸上競技 (長距離走) 【保健】 健康な生活と病気の予防
3 学期	【実技】 ダンス (フォークダンス)、選択球技 【保健】 健康な生活と病気の予防

1. 中学校での目標

技術によってよりよい生活や持続可能な社会を作るために必要な力をつけます。

- (1) 生活や社会で利用されている技術についての理解を深め、それに関わる技能を身につけます。
- (2) 実習を行う中で見つけた、課題を解決する力を養います。
- (3) 正しく技術を工夫し、新しいものを創り上げようとする態度を養います。

2. 教材

教科書：新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍） 授業プリント

ワーク：ハンドノート

必要だと思ったときのみ持ち帰り、普段は学校に置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

授業中の自分で考える課題はよく考え、自分なりの意見を持つようにしましょう。また、他の人に意見を聞き、取り入れることで自分の意見をより良いものにしましょう。

分からないことは先生や他の人に聞いてみてください。

実習中はどのようにしたらよいか、なぜそのようにするのかを集めた情報から考えて作品に繋げていきましょう。

4. 家庭学習の進め方

授業中に気になったことや知りたいことは積極的に書籍やインターネットで調べるようにしましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な知識が理解できているか ・ 道具の基本的な扱いができているか 	定期テスト 行動観察・作品
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物事に対して多面的に見ることができているか ・ 課題を見つけられたか ・ 課題を改善する考えを持ち、実現することができたか 	定期テスト 行動観察 作品レポート
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲的に授業を取組んでいるか ・ 事象に対して新たな課題を見出そうとしているか ・ 与えられた課題を解決しようとしているか ・ 自分の取り組みを振り返り次につなげることができているか 	定期テスト 授業態度 行動観察・作品

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	<p style="text-align: center;">【生物育成の技術の原理・法則と仕組み】 植物、動物、水産生物を育てる技術</p> <p style="text-align: center;">【生物育成の技術による問題解決】 栽培実習</p> <p style="text-align: center;">【エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み】 電気の仕組み、エネルギーの利用 機械の仕組み</p>
2 学期	<p style="text-align: center;">【エネルギー変換の技術による問題解決】 電子回路の設計・製作</p>
3 学期	<p style="text-align: center;">機構モデルの設計・製作</p>

1. 中学校での目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活を実現するために必要な力をつけます。

- (1) 生活の自立に必要な基礎的な理解を深め、それに関わる技能を身につけます。
- (2) 実践・実習を行い、課題を解決する力を養います。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、生活を工夫し創造しようとする態度を養います。

2. 教材

教科書：新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍） 授業プリント

必要だと思ったときのみ持ち帰り、普段は学校に置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

- ・授業中の自分で考える課題はよく考え、自分なりの意見を持つようにしましょう。また、他の人に意見を聞き、取り入れることで自分の意見をより良いものにしましょう。
- ・分からないことは先生や他の人に聞いてみてください。
- ・実習中はどのようにしたらよいか、なぜそのようにするのかを集めた情報から考えて作品に繋げていきましょう。
- ・振り返りでは、（+）理解できたところ、（-）理解できなかったところ、（→）理解を深めるために次に何をするかを分析し、自分で計画して学習に取り組めるようにしましょう。

4. 家庭学習の進め方

授業中に気になったことや知りたいことは積極的に書籍やインターネットで調べるようにしましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識が理解できているか。 ・道具の基本的な扱いができているか。 	定期テスト 作品 授業中の様子
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・物事に対して多面的に見ることができているか。 ・課題を見つけられたか。 ・課題を改善する考えを持ち、実現することができたか。 	作品レポートの考察 作品レポート 授業中の様子
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に授業を取組んでいるか。 ・事象に対して新たな課題を見出そうとしているか。 ・与えられた課題を解決しようとしているか。 	振り返り 作品 授業中の様子

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	【私たちの成長と家族・家庭生活】 家族・家庭と地域
2 学期	幼児の生活と家族 幼児のおもちゃ（製作）
3 学期	これからの私と家族

1. 中学校での目標

英語でコミュニケーションをするために必要な力をつけます。

- (1) 英語の音声や語彙、表現、文法等を理解し、その知識を実際のコミュニケーションで活用できる技能を身につけます。
- (2) 目的や場面、状況などに応じて、英語で情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養います。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手のことを考えながら、英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。

2. 教材

教科書：NEW HORIZON English Course 3 ノート：英語ワークノート

ワーク：ジョイフルワーク

プリント：単元テスト・授業プリント等（ファイルにとじる）

基本的にすべて持ち帰る。家庭学習によって、使わないものがあれば置いていってもよい。

3. 授業の受け方

- ・授業を大切にしましょう。
- ・英語はトレーニングの教科です。繰り返し何度も使うことで上達します。
失敗を恐れず、英語で話したり書いたりすることに挑戦しましょう。
- ・質問タイムや発表タイムでは、積極的に発言しましょう。他の人の質問や発表をよく聞き、自分の単語数や表現を増やしていきましょう。
- ・音読はしっかり声を出して発音しましょう。
- ・発音や意味がわからない単語や文があるときは質問し、授業中に解決しましょう。
- ・メリハリをつけて授業を受けましょう。（友達に相談なのか、私語なのか）

4. 家庭学習の進め方

予習よりも授業の復習を大切にしましょう。授業があった日に、その日の復習をするのが一番効果的です。 **復習をすること＝トレーニングを続けること**

- ① デジタル教科書やQRコードを使い、授業で学習した単語を発音したり、本文の音読をしたりしましょう（目標：10回以上）。（**ロイロノートを使って、本文の音読提出を定期的に行います！**）
- ② 授業で学習した単語と本文の指定された部分を発音しながら、ノートに書く練習をしましょう。
- ③ 授業で学習した内容について、「ジョイフルワーク」などを行うときには、なぜ間違えたのかを分析し、正しく解答できるまで練習しましょう。
- ④ 定期テスト前には、ジョイフルワーク・プリントの問題に3回以上取り組み、以前やったときに間違えたところができるようになっているかを確認しましょう。
- ⑤ 「みんなの学習クラブiプリ」の問題に取り組みましょう
- ⑥ 授業ノートとは別のノートに、英語で日記やエッセー等を書きましょう（先生に見てもらってもできます）。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 英語に関する知識を身につけているか。 身につけた英語の知識を正確に使えているか。 	単元テスト パフォーマンステスト 定期テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができているか。 	パフォーマンステスト 定期テスト 授業中の様子
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手のことを考えながら、英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。 知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけるために、自分はどこができない・わからないのかを見つけ、それを解決しようとしているか。 	パフォーマンステスト 振り返りシート 授業中の様子 提出物

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	<p style="text-align: center;">【 Unit 0 ～ Let' s Read 1 】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに経験したことにもとづいて、相手に合ったプランを伝えることができる。 気持ちを伝えるために、表現を工夫しながらファンレターを書くことができる。 ディスカッションを聞き、自分の意見を考えるのに必要な情報を理解することができる。 ずっと好きなことや、これまで取り組んできたことについて伝え合うことができる。 社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。 自分の意見や考えを加えて記事を書くことができる。 これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。 物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読することができる。
2 学期	<p style="text-align: center;">【 Let' s Listen ～ Let' s Have a Mini Debate 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害情報を聞き、どう行動すればよいかを理解することができる。 標識が何を意味しているのかを説明することができる。 ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて、概要や要点を理解することができる。 人やものについて詳しい情報を加えて説明することができる。 資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。 日本や郷土の文化などを紹介する文を、詳しい情報を加えながら書くことができる。 人物の経歴を聞いて、概要を理解することができる。 架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。 スピーチを聞いて、話の概要を理解することができる。 主張とその理由を明確にしなが、ディベートをすることができる。
3 学期	<p style="text-align: center;">【 Let' s Read 2 ～ Let' s Read 3 】</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー問題に関する説明文を読んで、内容の要点を理解し、自分の言葉で伝えることができる。 スピーチの原稿を読んで、内容の要点を理解し、自分の言葉で伝えることができる。